

韓国において口蹄疫が発生！

中丹家畜衛生情報（No. 28-43）

平成29年2発行

韓国において約11か月ぶりとなる口蹄疫（O型）（牛195頭、うち5頭に臨床症状）の発生がありました。春節に続き、韓国からの人や物の流れは日々増加しています。

平成22年の宮崎県の発生事例でも直前に韓国での発生があったことから、現在、口蹄疫侵入のリスクが高い状態と考えられます。再度、飼養衛生管理基準に基づき農場におけるウイルス侵入防止対策の徹底をお願いします。

○ アジア地域における直近の口蹄疫の発生概要

- ・韓国 2017年 2月：牛1件（O型）
- ・中国 2017年 1月；牛1件（O型）
2016年11月：牛1件、豚1件（O型）
- ・ロシア 2016年12月：牛1件（O型）
2016年11月：牛2件（O型）

ウイルス侵入防止対策の点検と消毒の徹底を！

踏み込み消毒槽の設置

- ・畜舎の出入口に4%炭酸ソーダ（炭酸ソーダ粉末400gを10Lの水で希釈）消毒槽設置
- ・踏み込み消毒槽は汚れたら交換。汚れが少なくても1週間で交換願います。

畜舎周辺の消毒

- ・畜舎周囲、通路、農場外縁部（2m幅）や飼料タンク周辺、外来者の駐車場等。
- ・消石灰（0.5~1kg/m²）を地面がムラなく白くなる程度に散布。

農場への人・車両の出入りは最小限に

- ・車両の入出場時は、農場の車を含め農場外部でしっかりと消毒。



家畜の健康観察

- ・突然の発熱やよだれ等の特定症状を発見したら、すぐに家畜保健衛生所に連絡。



京都府中丹家畜保健衛生所 福知山市字半田371-2

TEL：0773-25-1860（夜間・休日も転送機能で連絡可能）